

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392800039
事業所名	グループホーム向陽

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	○
	町内会に加入し、回覧板を隣へ回す役割の入居者が要る。町内の資源回収では入居者が立番をしている。地域の盆踊りでは、地域役員に勧められるままにやぐらに上って踊りだす入居者もいた。近所のスーパーでは知り合いを見つけ、自分から声をかける入居者もいる。地域包括センターも「地域に、ホームが何をやっているかわかる努力をしている」と運営推進会議で認められた。	
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	○
	市の担当者・地域包括センター職員・民生委員・町内会長・老人会長・入居者とその家族・法人代表の医師・職員で構成され、隔月に開催されている。入居者の避難方法が問われ、階段の使用が無理なことから、二階では火元から遠いベランダへ避難することが決定した。夜間ベッドからの転落に対し「畳で寝てはどうか」との提案があり、さっそく実行されていた。	
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	×
	介護相談員を受け入れ4か月に一度来所している。「煮みそが食べたいようだ」との家族の情報を相談員から伝えられ、さっそくメニューに取り入れた。困ったことは市の担当者に相談し、ホームからも情報提供している。	
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	○
	家族会はないがホーム便りは3か月ごとに発行・配布している。家族来所時には「気付いたこと・変わったことはありませんでしたか」と必ず確認している。管理者は「家族は思っていることの3割しか話してくれないよ」とその言葉の裏の真意を汲みとるよう指導している。	
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		×

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	—	×	○	×		

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。